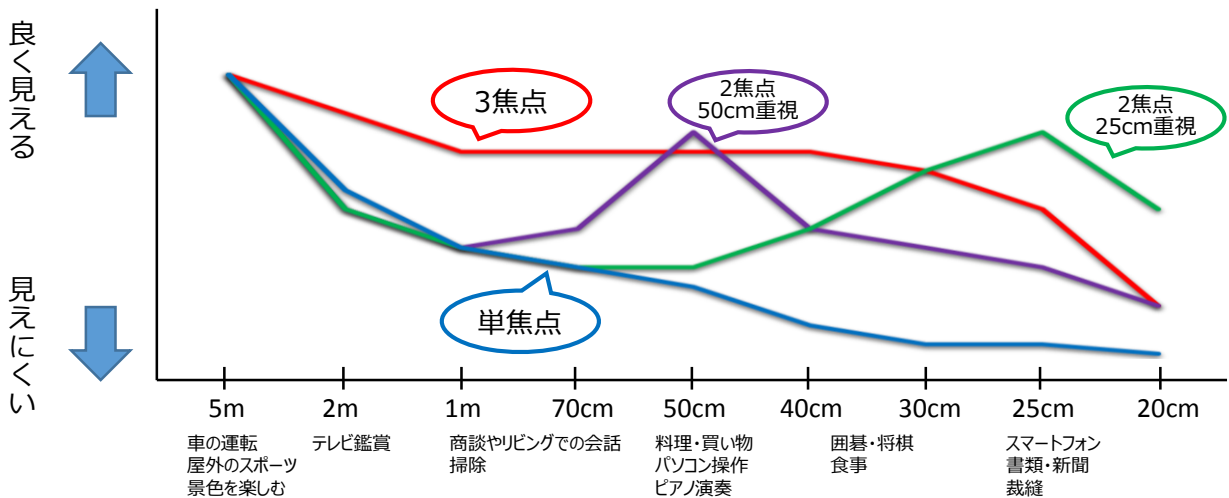


3焦点レンズの取り扱いを開始しました

白内障手術では混濁した水晶体を取り除き、新しい眼内レンズを眼内に入れます。

当院では、常に一定の距離にピントの合う単焦点レンズと、遠方の他に老眼改善を目的に中間距離・もしくは近方のいずれかにピントのあう2焦点レンズ(多焦点レンズ)を取り扱っていましたが、この度遠方・中間距離・近方のいずれにもピントのあう3焦点レンズの取り扱いを開始しました。

眼内レンズの種類による見え方の違い (イメージ)



- 今まで使用していた2焦点レンズでは、中間距離を重視すれば近方、近方を重視すれば中間距離でピントの合いにくい部分が生じていたため、よりはっきり見たい場合には眼鏡を使用する必要がありましたが、3焦点レンズでは遠方から近方(30cm程度)までピントが合いやすくなり、眼鏡を必要とする場面がほとんどなくなると考えられます。
- 強めの乱視がある場合は、乱視矯正効果のあるトーリック3焦点レンズを使用し、乱視の矯正を行います。
- 多くの多焦点レンズの特徴である、強い光源を見た場合に光をまぶしく感じたり(グレア)、光の周辺に輪がかかって見えたりする現象(ハロー)を強く自覚する可能性があります。

【手術の適応】

3焦点レンズは、従来からある2焦点レンズ同様、すべての方に適しているわけではなく、白内障以外にも眼の病気がある方や、強度近視の方などは適応になりません。

【費用について】

- 3焦点眼内レンズを用いる白内障手術は、選定療養に該当します(2焦点眼内レンズも含む)。
- 通常の保険適用の白内障手術代に加えて、レンズの種類により20~30万円の自己負担が必要です。